

奨学金： JEES 一般奨学金
大 学： 新潟大学
名 前： 範 強
国 籍： 中国

私は 2016 年 10 月 5 日インタビューのために京都に行きました。この旅は思い出深い旅になりました。

私は、10 月 5 日 6 時に夜行バスで京都駅に着きました。下車したあと、財布をバスの中で落としたことに気が付きました。日本語が得意ではなくて京都に友達もいなかったのも、私は困ってしまいました。

悩んだ末、私は京都駅の交番に行き、助けを求めました。二人の警察官がバス会社に連絡して、私の財布を探すように頼んでくれました。幸い、バス会社が私の財布を見つけられました。しかし、財布を引き取るには私自身でバス会社の所在地（大阪府狭山市）に行く必要がありました。でも、私は、狭山市への交通ルートが分からないし、運賃もなかった。二人の警察官は交通ルートを調べたあと、それを書いて私に渡してくれました。また、運賃にあたるお金を貸してくれました。

その後、京都駅から大阪駅に行くとき、分からなくて、間違えて特急列車に乗り込んでしまいました。乗車したあと、600 円の特急料金を精算する必要があることに気が付きました。私は車掌さんに状況を説明して、600 円の特急料金を追納することができないと言いました。しかし、日本語が下手なので、車掌さんに通じていませんでした。車掌さんは、警察に通知すると言って離れました。

やむを得ず、私は、私と車掌の話聞いていたとなりのおじさんに助けを求めました。おじさんは、車掌に説明するから心配しないようにと言ってくれた。特急列車が新大阪駅に着くと、おじさんは一緒に下車して大阪駅行きの普通列車に乗り換えるようにと私にアドバイスしてくれました。ちょうどそのとき、車掌さんが帰ってきた。おじさんは車掌さんに事情を説明してくれました。それを聞いて、車掌さんはおじさんに私はこのまま特急列車を乗って大阪駅に行くことができると言いました。また、大阪駅から狭山市までの交通ルートも教えてくれました。おじさんはこれを聞いて安心して下車しました。それと同時に、となりのもう一人のおじさんも下車しました。彼は、私と話はしなかったですけど、ずっと私の状況に注意を払ってくれていました。車掌さんに私がこのまま乗車できることを確認したあと、このおじさんも安心して下車しました。私は、この二人のおじさんに感謝を込めてお辞儀しました。

バス会社のある金剛駅までは順調にたどり着くことができました。でも、終点の金剛駅に着くと、お金が足りなくて運賃を支払うことができませんでした。それで、私は駅員さんに事情を説明して、財布を引き取ってから運賃を支払うことができるかどうか聞きました。駅員さんは、私の状況を了承したうえで、私に伝表を書かせてから改札を通過させてくれました。

親切な日本人のおかげで、私は無事に財布を引き取って、運賃を支払うことができました。京都に帰ると、私はすぐに京都駅に交番に返金に行きました。残念ですが、お金を貸してくれた二人の警察官はすでに退勤していました。午後にインタビューがあるので、私は二人の警察官の名前を聞かずに帰りました。今思えば、名前を聞いておけばよかったと悔しく思っています。

私は年末年始に一時帰国して、この経験を中国の先生・友達たちに話しました。この経験を聞いて彼らは日本に対するイメージを変えたようです。彼らは日本人の親切さに感動して、この経験を書いてもっと多くの人に知らせた方がいいと私にアドバイスしました。これを受けて、私もこの経験を書いて、もっと多くの人に知らせたいと思いました。本当の日本がどういう国なのか、そして、本当の日本人はどういった人たちなのか。また、この場を借りて、助けてくれた人たちに感謝の意を申し上げたい。

もっと多くの中国人と日本人が理解しあうように希望しています。